

# パラレーロ

## 取付説明書 一復連式・一本引式

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

### ■施工の前に

- 正しく施工、組付をしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 門扉は人や車が出入りするためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので設置の場所・目的に合わせて選択してください。
- 扉走行床面は水平に仕上げてください。
- 組立ではボルト・ネジは弊社純正品を使用し、規定本数を確実に締め付け固定してください。
- 製品の改造は絶対に行わないでください。
- 施工完了後は扉の開閉チェックを行い、不具合がないか確認してください。
- 施工完了後は、施工中の汚れは取り除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗装をしてください。
- 施工終了後は、取付説明書を施主様にお渡しください。

### ■施主様へ

- 製品の破損などによる身体の損傷等の危険がありますので以下の使い方を守ってください。
- 通常使用されない場合は、必ず施錠してください。
- 開閉時には手足・衣服等を挟まないよう注意してください。また人・物等の障害物が無い事を確認してください。開閉時には把手を持って動かしてください。
- 強風時は、扉を閉じて施錠してください。
- 扉を揺すったり、載ったり、寄りかかったりしないでください。

### ■梱包明細書

#### ① 本体

名 称	員 数		
	戸当り	吊元	一本引
複連式戸当り本体	1	—	—
複連式吊元本体	—	1	—
一本引式本体	—	—	1
把手道路側	1	—	1
把手敷地側	1	—	1
把手取付ネジ M6×50サラ小ネジ	2	—	2
レバーハンドル	2	—	2
レバーハンドル用角芯	1	—	1
丸座	2	—	2
座裏板	2	—	2
シリンダー	2	—	2
キー	3	—	3
レバーハンドル止めネジ M6×8六角穴付止めネジ	2	—	2
丸座取付ネジ M3×8ナベ小ネジ	4	—	4
落とし錠受け	1	—	1
パネルストッパー	4	4	4
パネルストッパー取付ボルト M8×18六角穴付ボルト (平、バネ座金付)	8	8	8
スライドレールキャップ	4	4	4
スライドレールキャップ取付ネジ M4×12トラス小ネジ	8	8	8
スクリーンパネル	—	1	—
スクリーンパネル取付金具	—	2	—
スクリーンパネル取付ネジ M4×12トラス小ネジ	—	8	—
複連補強材	—	2	—
スライドローラー	—	4	—
スライドローラー・複連補強材取付ボルト M8×25六角ボルト (平、バネ座金付)	—	10	—

#### ② ガイド柱

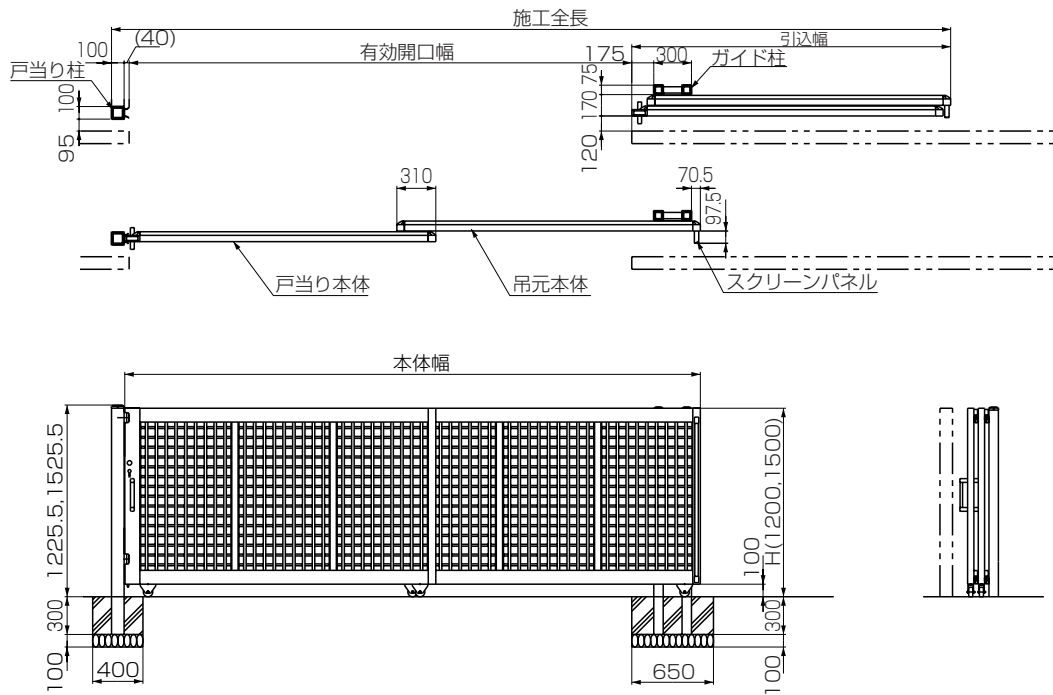
名 称	員 数
ガイド柱	1
複連補強材 (ガイド柱用)	2
スライドローラー	4
スライドローラー・複連補強材取付ボルト M8×25六角ボルト	10
後部ストッパー	1
アンカー棒	2
取付説明書	1

#### ③ 戸当り柱

名 称	員 数
戸当り柱	1
戸当り受け	2
戸当り受け取付ネジ M4×16トラス小ネジ	4
アンカー棒	1

# 1. 姿図及び基本寸法

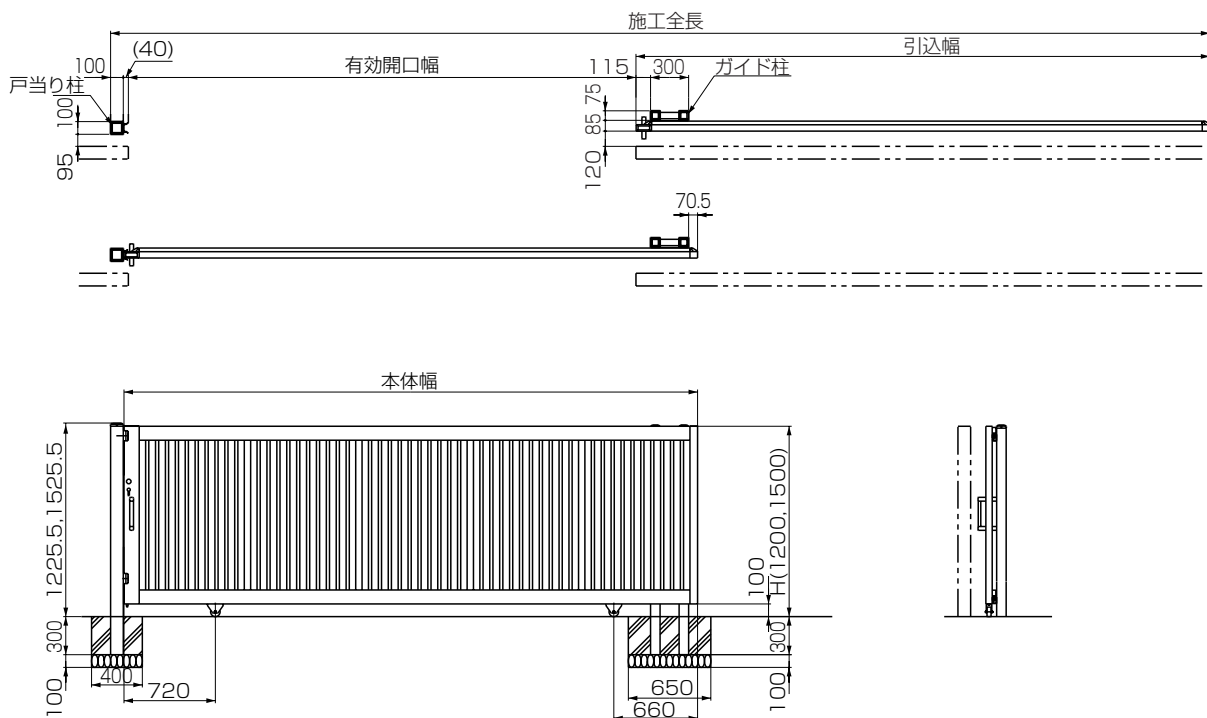
## 1-1 複連式



図はAタイプ

	有効開口幅	施工全長	本体幅	引込幅
W3000	3000	5178	3580	2038
W4000	4000	6678	4580	2538

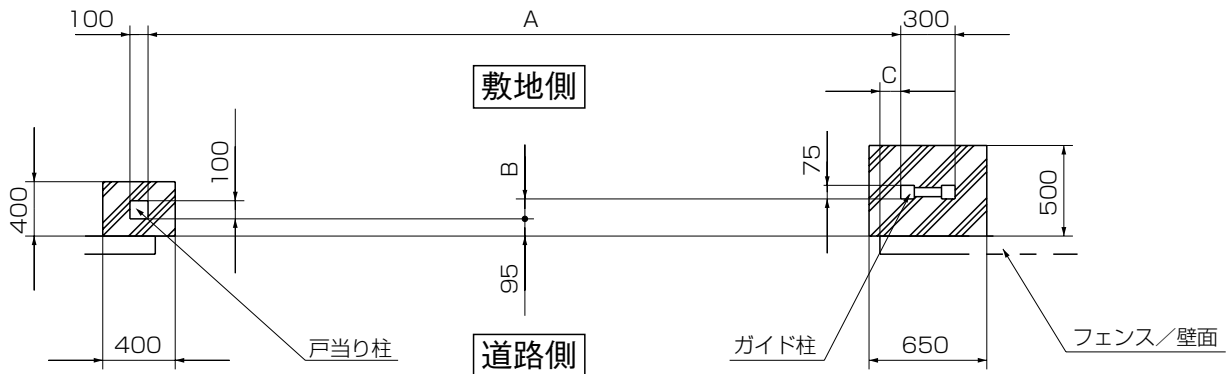
## 1-2 一本引式



図はBタイプ

	有効開口幅	施工全長	本体幅	引込幅
W3000	3000	6663	3520	3523
W4000	4000	8663	4520	4523

## 2. 柱の施工位置



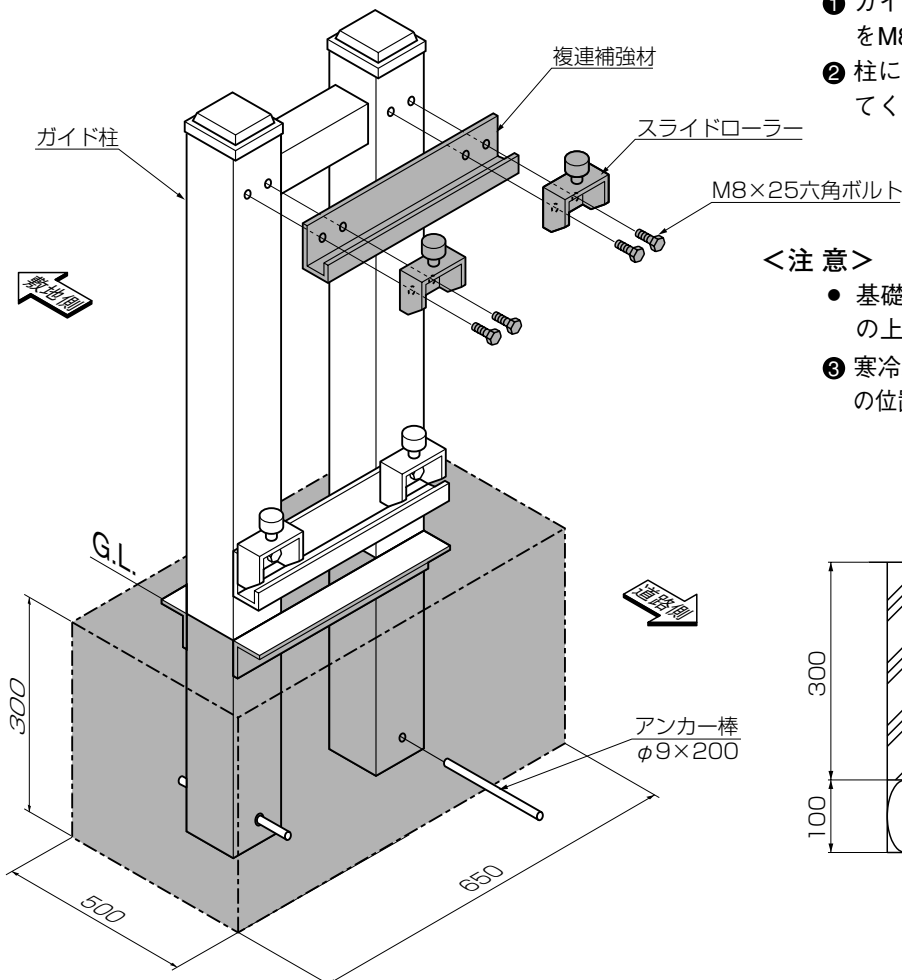
図は右引

### <注意>

- A寸法は+0、-100の範囲で取付可能ですができる限り指示寸法通り施工してください。
- 戸当り柱の基礎固定は、本体組付終了後、行なってください。
- 走行面(引込含)は、水平に仕上げてください。

	A	B	C
複連式W3000	3215	195	175
複連式W4000	4215	195	175
一本引式W3000	3155	110	115
一本引式W4000	4155	110	115

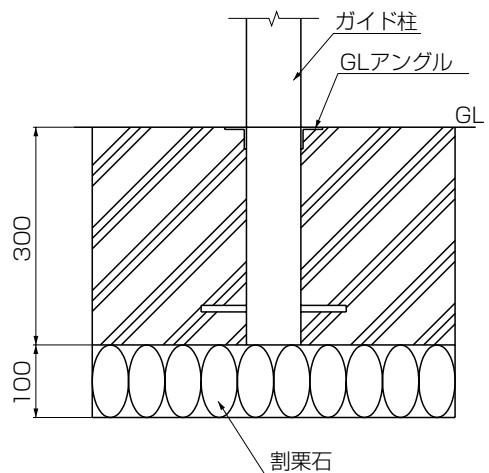
## 3. ガイド柱の取付け



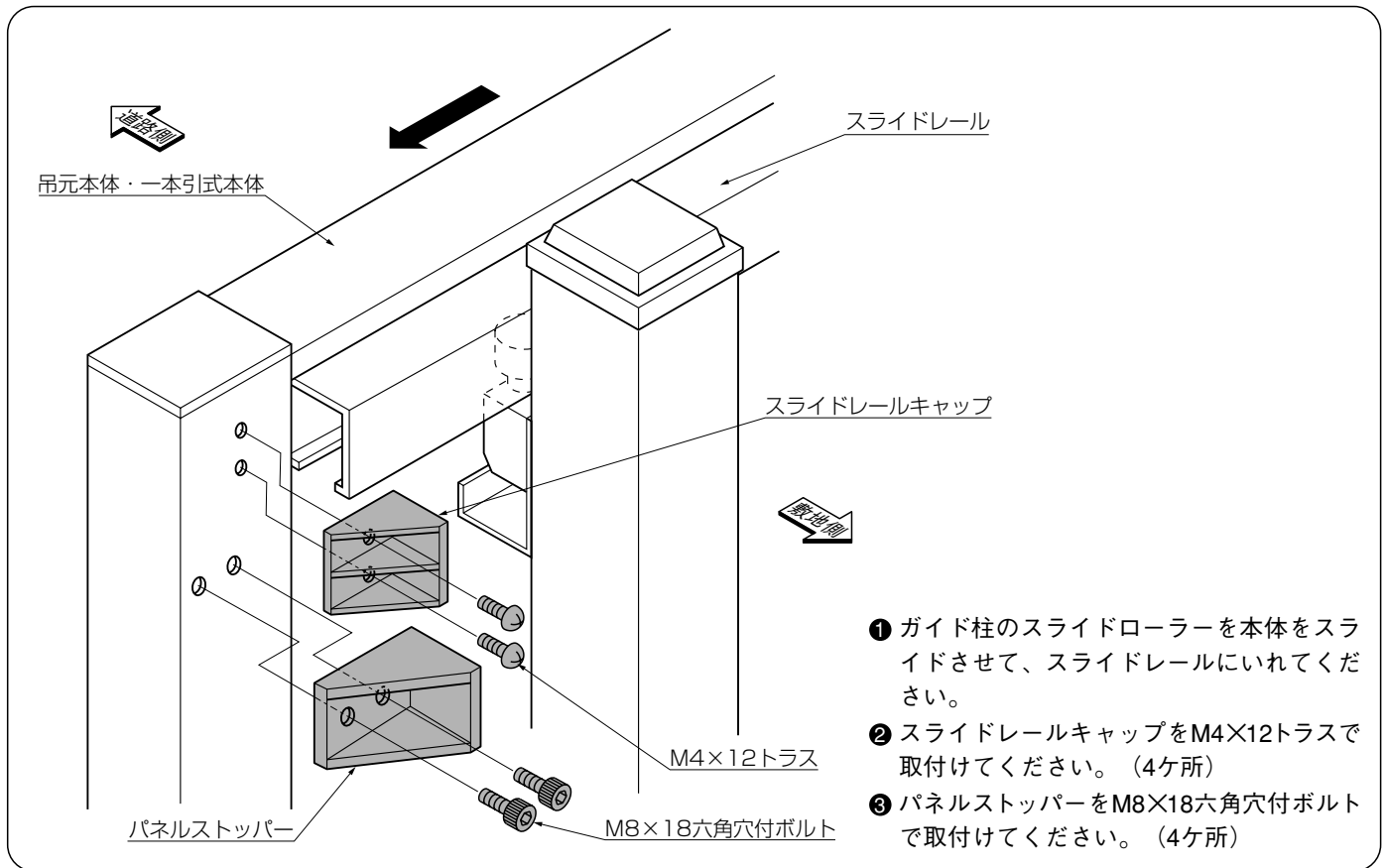
- ① ガイド柱に複連補強材とスライドローラーをM8×25六角ボルトで取付けてください。
- ② 柱にアンカー棒を挿し込み、基礎施工をしてください。

### <注意>

- 基礎の仕上げ面と、ガイド柱のGLアングルの上面を必ず合わせてください。(下図)
- ③ 寒冷地では、凍結防止の為柱のGL上15mmの位置にφ6程度の水抜き穴をあけてください。

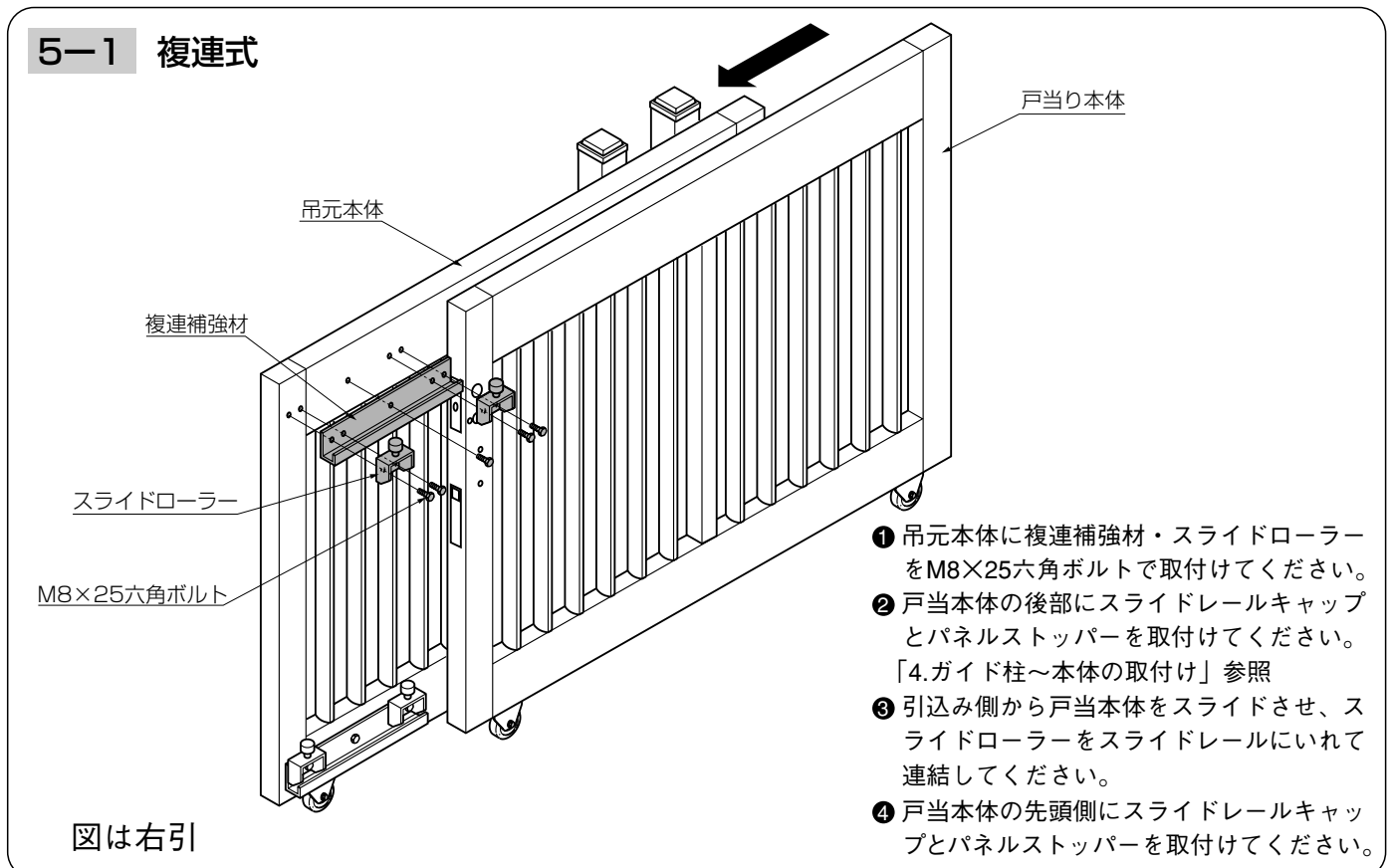


## 4. ガイド柱～本体の取付け



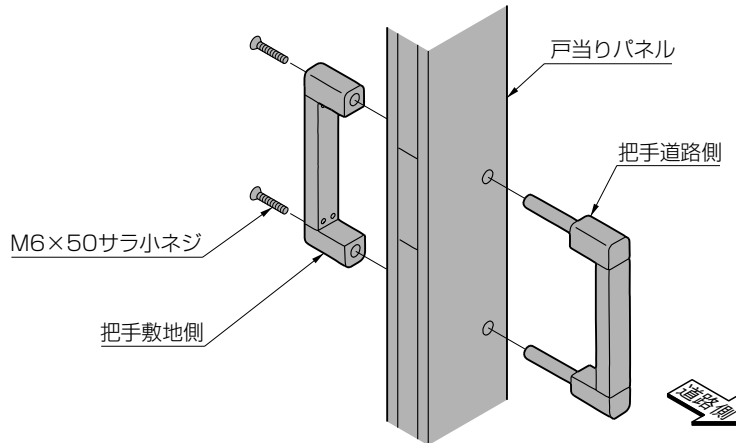
## 5. 戸当本体の取付け

### 5-1 複連式



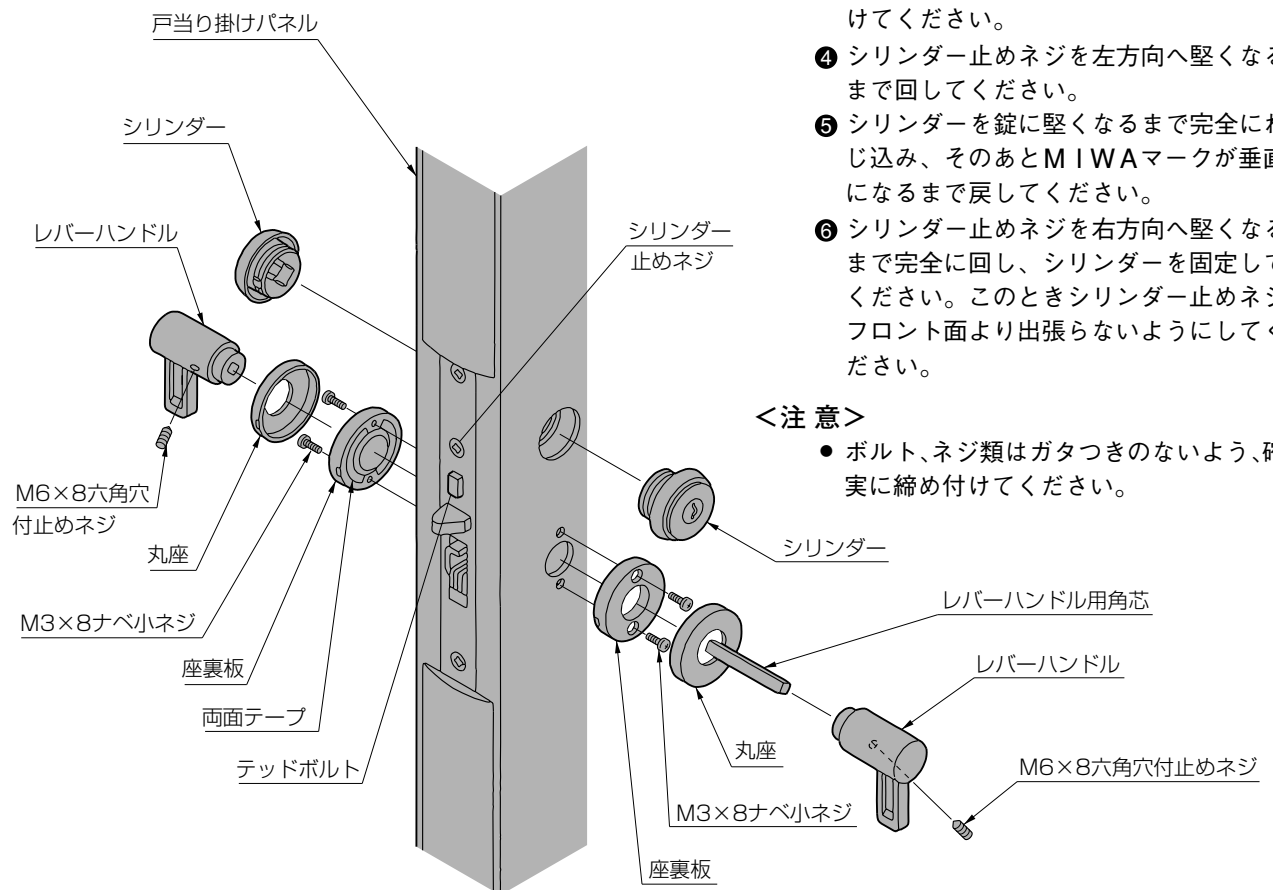
## 6. 把手と錠の取付け

### 6-1 把手の取付け



- 1 左図のように戸当りパネルに把手を取付けてください。

### 6-2 錠の取付け



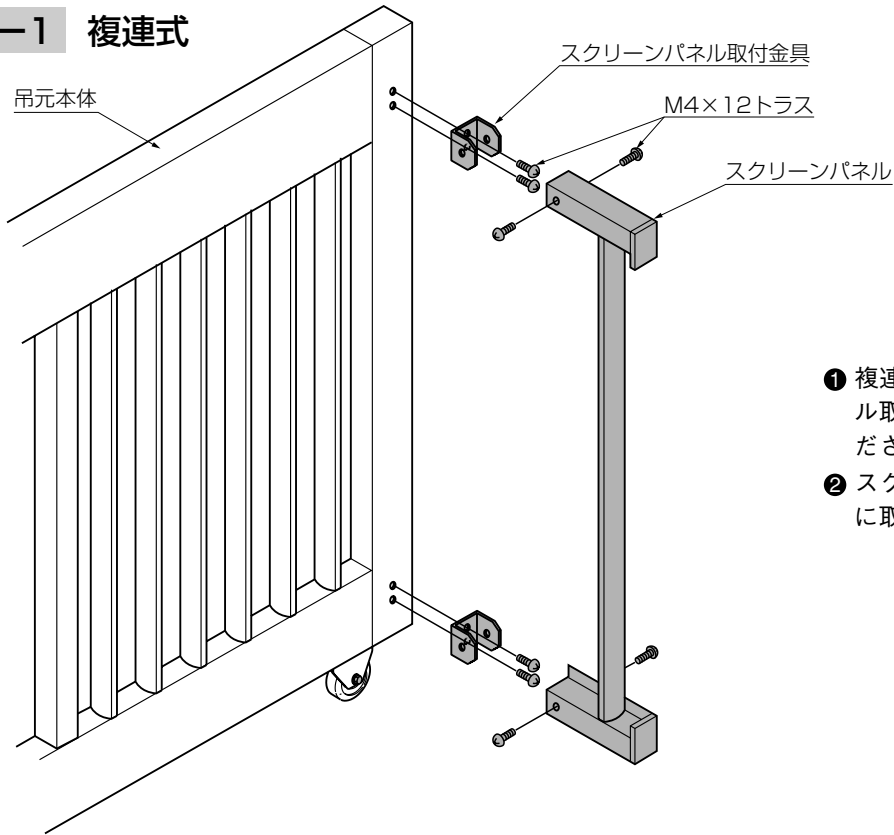
- 1 座裏板を戸当り受けパネルに取付けてください。座裏板に接着された両面テープをはがし、角芯を案内にして座裏板を取付ネジで取付けてください。
- 2 座裏板の溝へ丸座の突起を合わせてはめ込んでください。
- 3 角芯を錠にはめ込み、レバーハンドルを差込んで。六角穴付止めネジにて締め付けてください。
- 4 シリンダー止めネジを左方向へ堅くなるまで回してください。
- 5 シリンダーを錠に堅くなるまで完全にねじ込み、そのあとMIWAマークが垂直になるまで戻してください。
- 6 シリンダー止めネジを右方向へ堅くなるまで完全に回し、シリンダーを固定してください。このときシリンダー止めネジフロント面より出張らないようにしてください。

#### <注意>

- ボルト、ネジ類はガタつきのないよう、確実に締め付けてください。

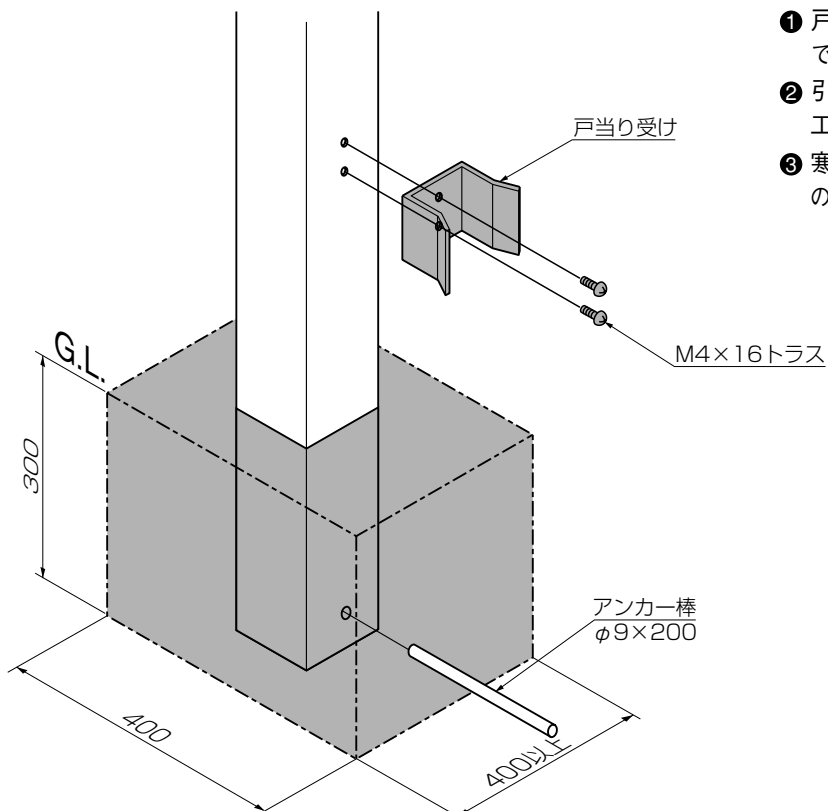
## 7. スクリーンパネルの取付け

### 7-1 複連式



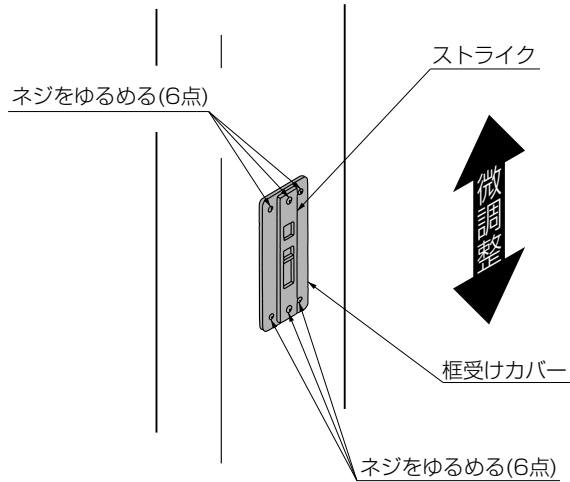
- ① 複連式、吊元本体後部にスクリーンパネル取付金具をM4×12トラスで取付けてください。
- ② スクリーンパネルをM4×12トラスで金具に取付けてください。

## 8. 戸当り柱の取付け



- ① 戸当り柱に戸当り受けをM4×16トラスで取付けてください。
- ② 引戸本体との位置を確認したのち基礎施工してください。
- ③ 寒冷地では、凍結防止の為柱のG.L.上15mmの位置にφ6程度の水抜き穴をあけてください。

## 9. ストライク(錠受け)の微調整

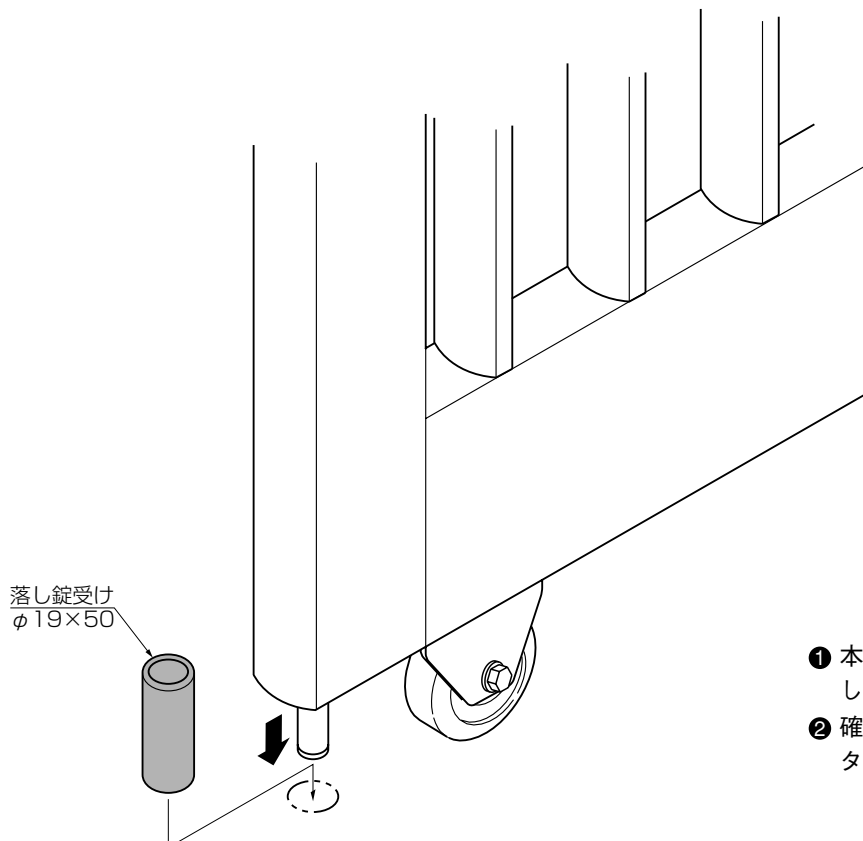


- ① 施工終了後、ストライク・錠受けカバーのネジ6点をゆるめて、錠本体とストライクの位置を合わせてください。

<注意>

- ネジ6点を外してしまうと裏板が外れ落ちてしまい、ふたたび組付けられなくなりますので絶対に外さないようにしてください。

## 10. 落とし錠受けの取付け

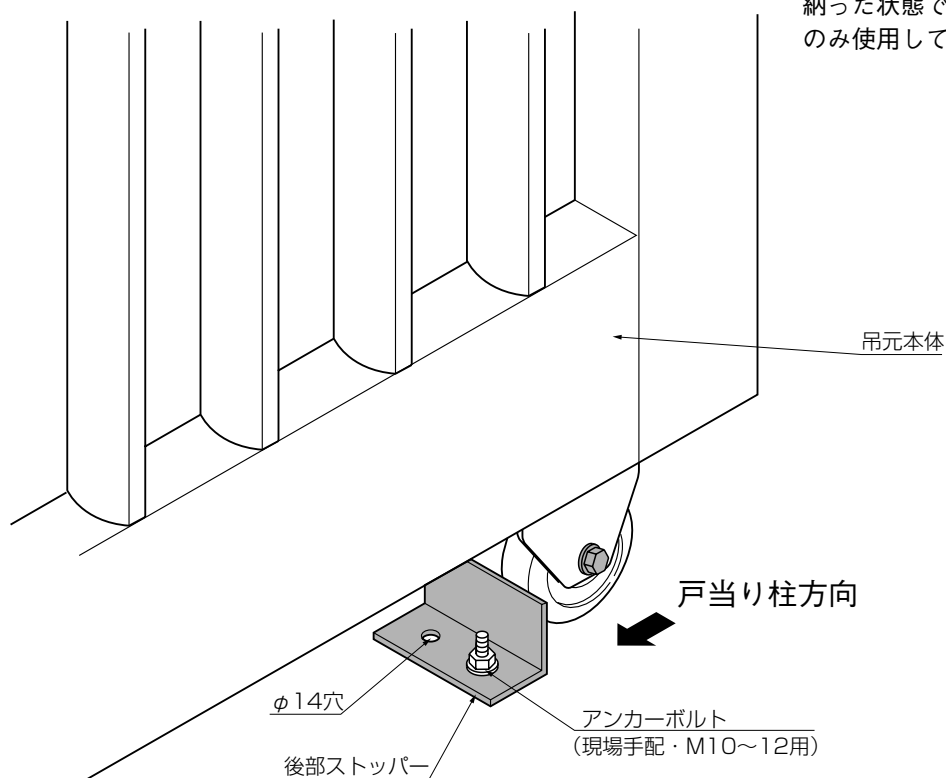


- ① 本体を引込んだ状態で落とし錠を下げて、落とし錠受けの位置を確認します。
- ② 確認した位置に穴をあけ落とし錠受けをモルタルで固定してください。

## 11. 後部ストッパーの取付け

### <注意>

- 後部ストッパーは「2.柱の施工位置」にてA寸法が指示通りであれば、使用する必要はありません。複連式にて本体が戸当り柱に納った状態で吊元本体の遊びが大きい場合のみ使用してください。



- ① 戸当り柱に本体が納まった状態で吊元本体を後ろに引き、後部ストッパーの位置を決め、アンカーボルトを打つ位置にマークをします。この時、後部ストッパーが、戸当り本体を引込む時、当たらないことを確認してください。
- ② 本体をいったん退かしマークした場所にアンカーボルトの穴をあけ打ち込みます。(アンカーボルトは現場手配です。M10~12用)
- ③ 左図のように納めたのち後部ストッパーをナットで固定してください。

### 工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

- ご使用いただきましてありがとうございました。

### 施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらしたやわらかいぞうきんで拭き取ってください。また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取ってください。

取説コード

D305

200009A